記者発表資料

平成２６年１１月２７日
国　土　交　通　省
南 三 陸 国 道 事 務 所

三陸沿岸道路（唐桑高田道路）
(仮称)気仙(けせん)トンネルの着工式のお知らせ

三陸沿岸道路「唐桑高田道路」は、復興のリーディングプロジェクトとして一日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めております。

このたび、唐桑高田道路の「(仮称)気仙トンネル」（延長706m）の掘削にあたり、請負者主催による着工式が開催されますのでお知らせ致します。

また着工式では、工事の無事故・無災害と、被災地の一日も早い復興を願い、陸前高田市長をはじめとする各来賓による鍬入れ、および気仙小学校（６年生）の児童の皆様による「気仙町けんか七夕太鼓」が行われます。

１．日　　時：平成２６年１２月　２日（火）１０：００～

２．場　　所：陸前高田市気仙町字荒川地内　【別紙－１参照】
　　気仙トンネル起点坑口部

３．主　　催：国道45号気仙トンネル工事　鉄建建設株式会社 東北支店【別紙－２参照】

４．内　　容：「気仙町けんか七夕太鼓」気仙小学校（６年生児童）
　　挨拶（発注者、施工者）
　　来賓祝辞（陸前高田市長）　　など

注）現地付近では、施工者の係員が案内・誘導いたします。

（参考）唐桑高田道路の主な整備効果【別紙－３参照】
効果①：緊急輸送道路の信頼性確保
効果②：迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与
効果③：高台移転との一体整備、「復興まちづくり」を支援
効果④：漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待
効果⑤：三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

【発表記者会】
岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、大船渡記者クラブ、気仙沼記者クラブ、東北専門記者会

問　い　合　わ　せ　先

【着工式や施工内容に関するお問い合わせ】
鉄建建設株式会社 東北支店　気仙トンネル作業所
〒029-２２０３ 陸前高田市竹駒町字相川142-6　（代表）電話：0192-22-7180
現場代理人　浦本(うらもと)　孝志(たかし)

【事業に関するお問い合わせ】
国土交通省　南三陸国道事務所
〒026-0301 釜石市鵜住居町第７地割13-7　（代表）電話：0193-28-4731
副 所 長　山口(やまぐち)　満(みつる)（内線２０４）
南三陸国道事務所のホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html

国道45号　気仙トンネル工事　着工式　会場案内図

別紙－1



復興道路　国道45号　気仙トンネル工事

位　置　図

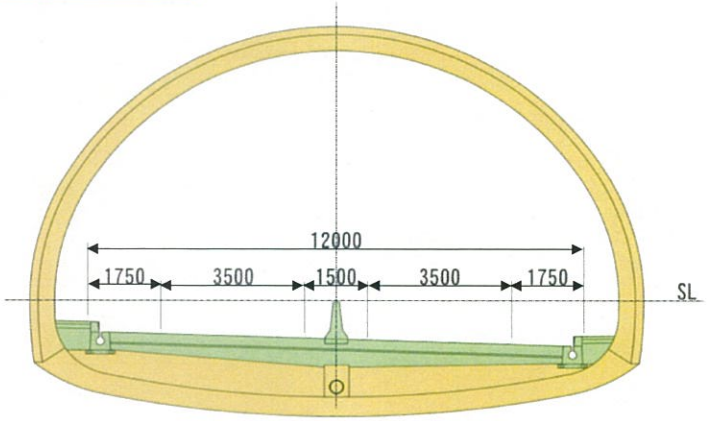


※トンネル名称は全て仮称

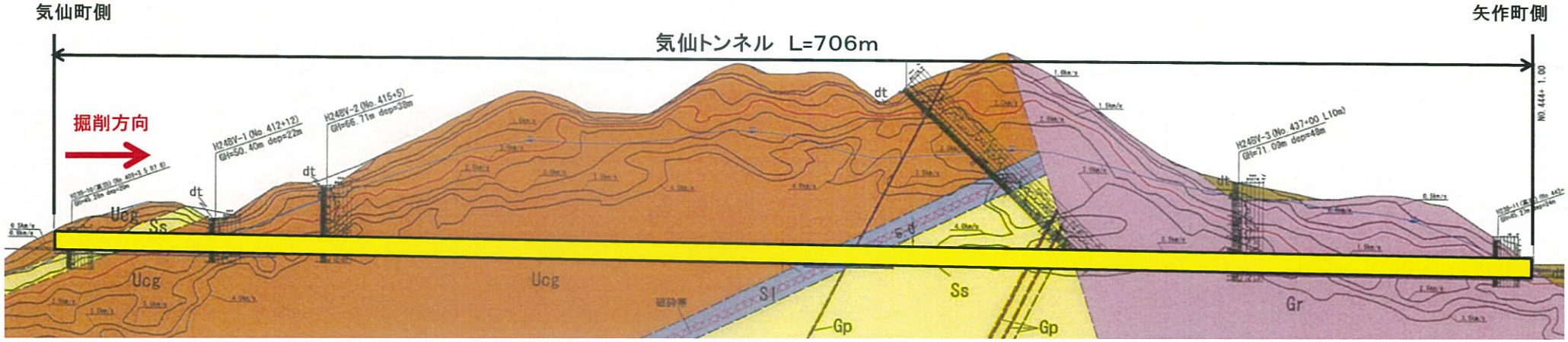
工　事　概　要

工 事 名：　国道45号気仙トンネル工事
施 工 者：　鉄建建設(株)
工事場所：　陸前高田市気仙町字荒川沢～矢作町字大嶋部地内
工事期間：　平成26年2月～平成27年9月
請負金額：　￥2，121，200，000－
工事内容：　トンネル工、仮設工、他
　　・気仙トンネル(仮称)　延長706m

標　準　断　面　図



トンネル縦断図



トンネル掘削工法：NATM工法

別紙－2

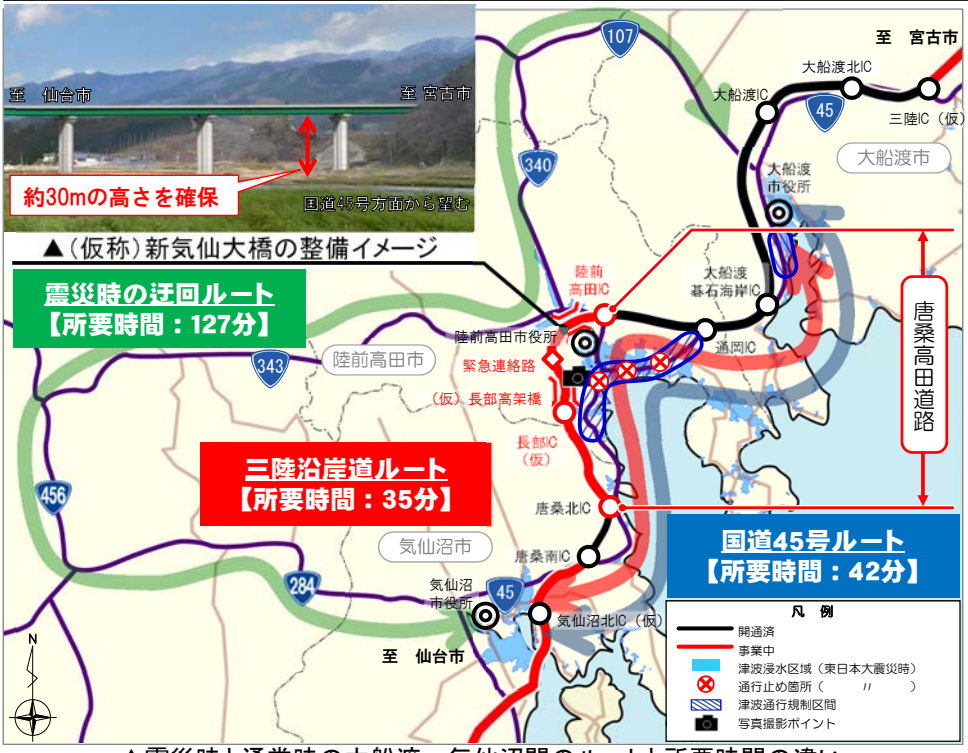
三陸沿岸道路「唐桑高田道路」開通で期待される効果

別紙-3



緊急輸送道路の信頼性確保

■ 三陸沿岸道路は、津波浸水区域を回避、または高さのある橋梁で通過できるように整備します。
■ 災害時においても寸断されない強靭で信頼性の高い道路ネットワークを形成します。



▲震災時と通常時の大船渡～気仙沼間のルートと所要時間の違い
（H22道路交通センサスで算出）



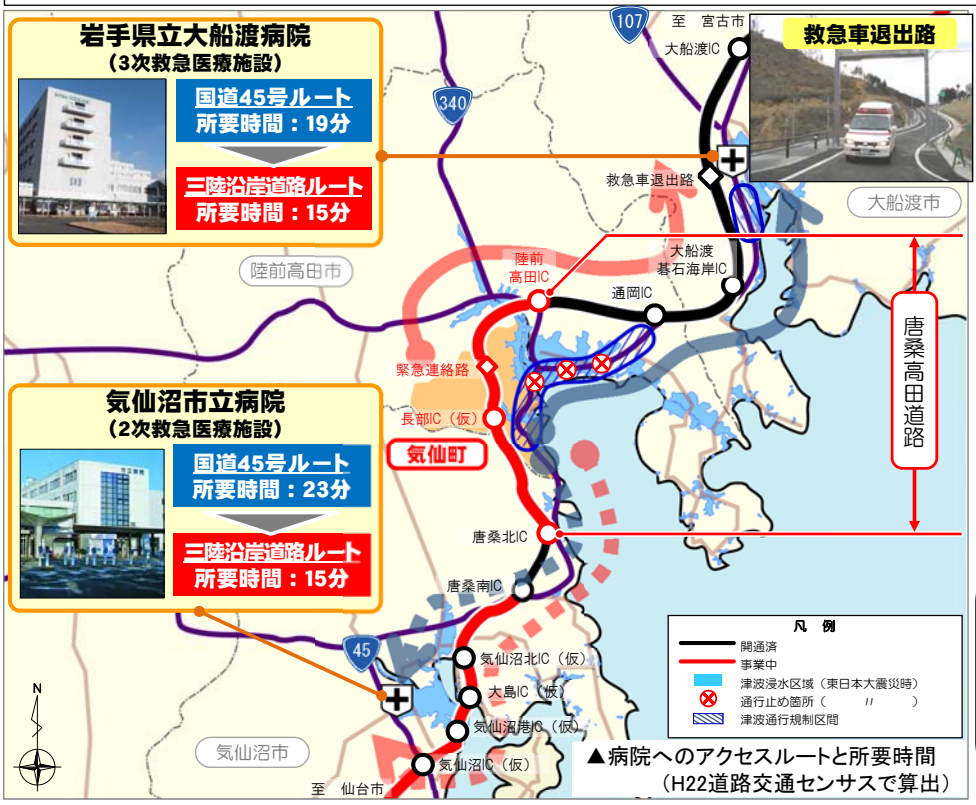
▲津波で流出した気仙大橋



▲仮復旧で対応している気仙大橋

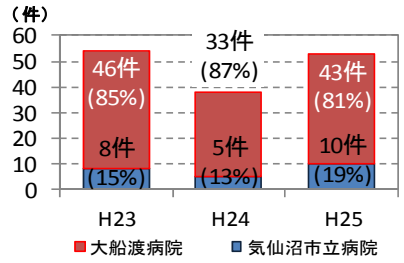
迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与

■ 迅速な救急活動を支援し、地域の皆様が安全・安心して暮らせる地域づくりに寄与します。
■ 緊急連絡路の整備により通行止め区間を回避でき、災害時における救急活動も支援します。



▲病院へのアクセスルートと所要時間
（H22道路交通センサスで算出）

◇大船渡病院・気仙沼市立病院の2病院への時間短縮が期待される。
◇また、災害時などの病院間の連携支援も期待される。



▲救急搬送件数

資料：陸前高田市消防本部の救急搬送実績
※大船渡病院への搬送：気仙町からの件数
※気仙沼市立病院への搬送：陸前高田市全体の件数

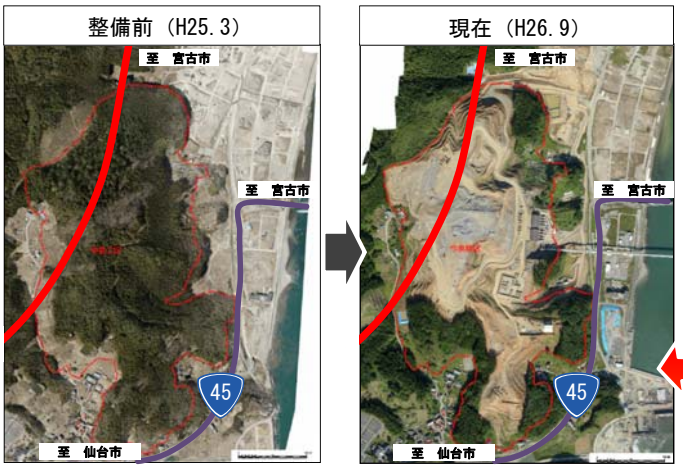
- 災害時、遠回りせず病院へ搬送できる。
- 大船渡・気仙沼、2つの病院への時間短縮が期待できる。



※陸前高田市消防本部（H26.10）より

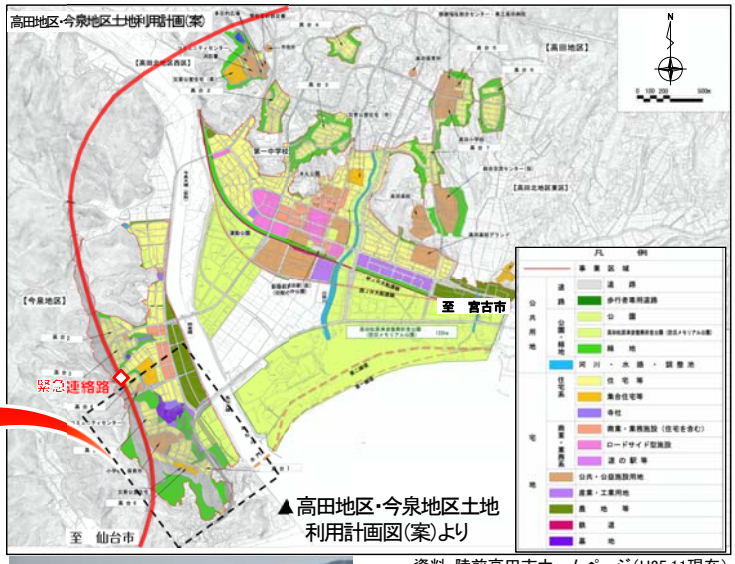
高台移転との一体整備、「復興まちづくり」を支援

■ 陸前高田市の高台移転計画と道路整備を一体的に行い、復興まちづくりを支援します。
■ 三陸沿岸道路に緊急連絡路を設けることで、災害に強い安全なまちづくりに貢献します。



▲今泉土地区画整理事業の進捗状況

資料：陸前高田市市街地整備課提供データ



▲高田地区・今泉地区土地利用計画図(案)より

資料：陸前高田市ホームページ（H25.11現在）

- 津波の影響で孤立する地域があった。
- 緊急連絡路ができることで、地域の孤立を防ぎ、安心した暮らしが提供できる。



※陸前高田市建設課　（H26.11）より



▲ベルトコンベアを使い事業を推進



▲土地区画整理事業の断面

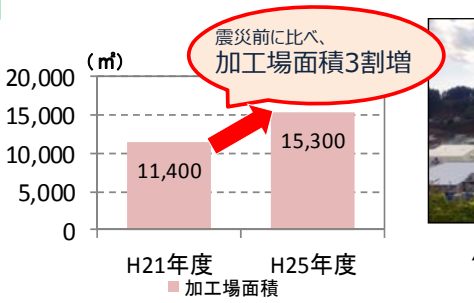
漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待

■ 漁業・水産加工業の再建が進み、水産加工団地の工場が平成25年から稼働開始。
■ 都市圏へのアクセス向上・時間短縮に伴い、商圏の拡大・生産性向上等、産業活性化に期待。



▲長部地区～仙台の所要時間の変化
資料:ヒアリング調査より搬送ルートを確認(長部～仙台市中央卸売市場)
H22道路交通センサスで算出

◇震災前より水産加工場の面積が3割増加し、生産体制が強化。
◇輸送時間の短縮により、商圏の拡大、生産工程が改善され、生産性の向上も期待される。



▲長部地区の加工場面積の変化
資料:陸前高田市水産課提供データ



▲復興が進む長部地区の水産加工団地(背後地)

- 三陸沿岸道路の整備により商圏の広がり、新たなビジネスの展開ができることを期待している。



※株式会社かわむら(H25.12)より

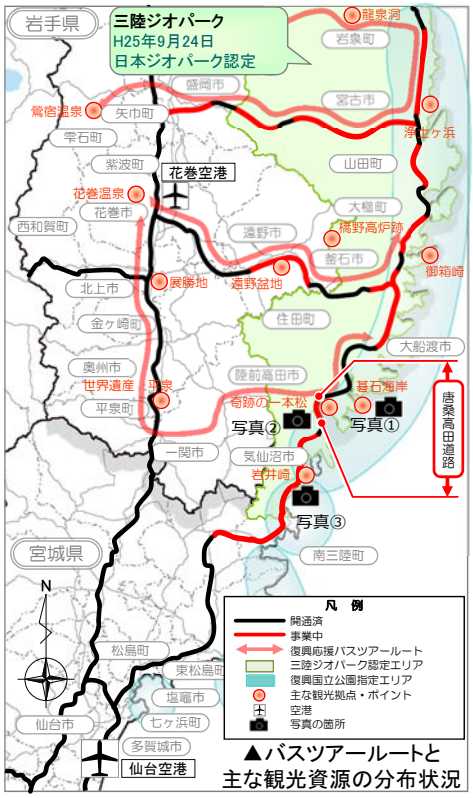
- 陸前高田と気仙沼に拠点が分かれているため、道路整備により生産効率の向上が期待される。



※陸前高田市水産課(H26.11)より

三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

■ 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在している。
■ 新たな観光施設がオープンし、道路整備による周遊ルートの形成で観光振興への期待が高まっている。



▲バスツアールートと主な観光資源の分布状況



写真①碁石海岸(大船渡市)



写真②奇跡の一本松(陸前高田市)



写真③岩井崎(気仙沼市)

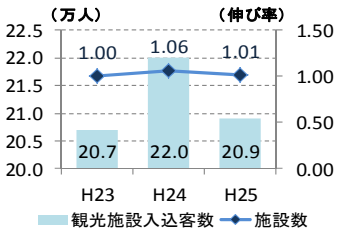


観光物産施設・一本松茶屋

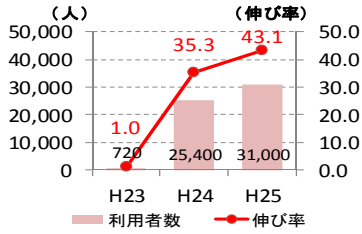


復興まちづくり情報館

◇「被災地視察」から「復興現場視察」へ、来訪目的が変化。
◇復興が進むにつれ、観光拠点を周遊する方も増えており、道路整備により観光振興に寄与することが期待される。



▲陸前高田市観光施設入込客数



▲震災視察ガイド利用者数

資料:陸前高田市商工観光課提供データ

- 「一本松茶屋」がオープン(H26.8)してから、観光物産品の売上げが大幅増加した。
  今後、防災教育等のツアーを企画し、誘客したい。



※陸前高田市商工観光課 (H26.11)より

- 復興現場や観光拠点を周遊する観光が増加。
- 気仙沼と陸前高田の2地域をまたいだ観光需要の創出に期待している。



※岩手県広域沿岸振興局 (H26.11)より